



【くすき正信プロフィール】

- 昭和30年1月10日生まれ(54才)
- 福岡大学附属大濠高等学校、国学院大学法学部法律学科卒業
- 平成19年4月中央区より初当選
- 家族:妻と子ども2人の4人家族
- 地域の役職/中央保善区保護司会 保護司(H15.3月~)
- 趣味/野球・書道

いつも、皆さまに支えていただき本当にありがとうございます。
 先の見えない経済状況、不安定な政治状況の中、
 「声の届く政治」の実現へ全力で取り組んでまいります。

公明党市議団としての取組み

福岡市の平成22年度予算〔1兆8,253億円〕

本年度の予算の特長は、経済・雇用の活性化策を中心に取組んでいます。



平成21年度を上回る中小企業への 新規貸付枠を拡充

融資枠を1,126億円増の3,684億円へ増加



雇用創出事業として 1,000人超の雇用を創出

中高年就労相談窓口を各区役所に設置。市の臨時職員として採用し、収入を得ながら就職活動ができる雇用生活保障対策の実施



子ども医療費の入院費の助成を 就学前から小学6年生まで拡大

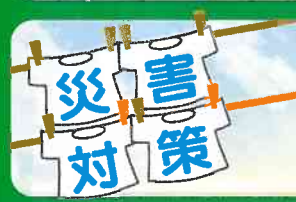


妊婦検診14回までの 公費負担を継続



高齢者支援

居宅介護や老老介護の実態調査を行い、きめ細かな施策を実施し、いきいきセンター(地域包括支援センター)の機能を拡充する。



水害対策として、浸水ハザードマップ事業・ 防災気象情報システムの整備拡充





ラブアース・クリーン 2010に参加

フクオカをきれいにしよう!

市内120会場で一斉に実施された海岸・河川・公園等のごみを回収する地域環境美化活動、「ラブアース・クリーン2010」に中央区環境を考える会の皆さんと一緒に参加いたしました。

皆さま、本当にお疲れさまでございました!

わたくしたち、ひとりひとりの熱き思いでかけがえのない地球を守ってまいります!



儲かる農業の 取り組み

おとなり佐賀市の農業法人、「佐賀中央アグリビズ株式会社」の運営方法を勉強させていただきました。

高齢化が進む農家の委託を受け、機械での田植えを一斉に行ない、後継者のいない農家の農地を借り受け裏作で小麦を作付けする。そして、直売所(農作物の販売)の経営等々。

幼稚園の田植えなど、食育の企画にも取り組みながら、順調に売り上げを伸ばしていました。

中でも一番の成果だったのは、「年をとって農業ができなくなっても法人の方々が全てやってくさるので安心して農業ができる」との農家の方々の声でした。

福岡市も同じ悩みをもつ農家の方々がおられるので、しっかり参考にし、支援組織をつくってまいります。



成年後見支援センター の推進

ひとり暮らしの老後を安心して過ごしたい、また、両親が死亡した後の知的障がいのある子どもの将来が心配など、ご相談を受けることが多くなってきました。

そのような権利や財産を守る身近なしくみが「成年後見制度」です。本人に代わって法律面や生活面を後見人が支援していきます。この後見人を家庭裁判所が選任するわけですが、選任される後見人が不足しています。そこで後見人を市民ボランティアから育成し、成果を上げている大阪市を調査しました。この制度が活用されるか否かも後見人しだいです。

福岡市にも一日も早い、成年後見支援センターの設立に向けて、努力してまいります。



新・中央児童会館 の建て替え

新しい中央児童会館は、乳幼児から高校生までの「体験」「交流」を中心に機能を充実させます。乳幼児親子の子どもプラザもリニューアル。ご要望の多かった駐車場も整備いたします。早ければ、今年度中に基本設計まで進めていきます。

子育て支援から高校生の居場所づくりまで子どもの夢と未来を育む福岡市に誇れる会館を整備してまいります。

